

# ひだわら

(社)神奈川労務安全衛生協会  
小田原支部  
小田原市城内1丁目21番地  
TEL 0465-24-1753  
発行責任者 支部長 鈴木 重人  
編集 広報部会

## 平成25年度の活動について

小田原支部長 鈴木 重人  
(株)カネボウ化粧品 小田原事業場



木々の緑が光り輝く季節になりました。風薰る五月、小田原支部会員事業場の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本経済は昨年4月以来、9ヶ月連続のマイナス成長となったものの、年明け以降個人消費の底堅さや、金融政策の効果、円安による輸出環境の改善などもあり、マインドも改善傾向にあり、景気は持ち直してきているといわれています。このまま本年後半に向けて、景気の緩やかな回復が続き、各企業の状況が改善される事に期待します。なお、先行きのリスクとしては、欧州の政府債権問題等、海外経済を巡る不確実性、為替の動向、電力供給の制約等があることにも留意する必要があるでしょう。

こうした中で雇用情勢は、全国的には3年連続して改善してきているとされていますが、神奈川県内は依然水準としては足踏みの状況であり、若者や新卒者の就職難等の解消には更なる改善が求められています。また、突然の解雇・雇止めや賃金不払い等の様々な個別紛争もあとをたたない状況であります。引き続き各企業、事業場は、事業基盤の強化と雇用の安定化を図るとともに、労働法令のコンプライアンスを徹底し

なければなりません。

そして平成25年度は、「第12次労働災害防止推進計画」の5ヵ年計画スタートの年となります。重点業種毎の目標を設定し、製造業・建設業の他、特に第三次産業（小売業、社会福祉施設、飲食店）や陸上貨物運送事業対策に重点をおきます。そして健康確保・職業性疾病対策としてメンタルヘルス・過重労働・化学物質・熱中症予防・腰痛対策を推進していきます。そのため、更なるリスクアセスメントの実施、過重労働による健康障害防止とメンタルヘルス対策を強力に推進し、目標達成に全力を挙げなければなりません。

小田原支部としては、「安心・安全な職場づくり」「心身の健康増進」などを基本目標とし、働く人の生きがい、働きがいのある職場実現に向けて活動を推進します。そして、労働安全衛生法及び労働基準法に基づく各種教育、講習会を開催するほか各種指針に沿った「化学物質を含めたリスクアセスメント」「労働者の心の健康の保持推進」「生活習慣予防のための健康診断結果に基づく事後措置」等への対応を推進します。

引き続き小田原労働基準監督署をはじめとする関係機関のご指導を頂き、関係諸団体との連携を密にし、公益社団法人として適正な事業運営の推進に努力していきます。今後とも会員事業場のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 平成25年度労働基準行政について



日頃から、(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部の皆様方には、労働基準行政の推進につきまして格別な御協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年度は皆様方をはじめ関係各位の御尽力のお陰をもちまして当署として大きな問題なく過ごすことができました。重ねてお礼申し上げます。

ようやく景気は明るさを取り戻しつつあるようですが、景気の潮目が変わるとときは往往にして労働災害の多発や労働条件の悪化といった問題が発生する傾向にありますことから、皆様方にはこれまで以上の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成25年度の神奈川労働局の労働基準行政の運営方針につきましては、本稿を書いている時点では本予算が成立していないため、暫定版であることをお断りした上で説明させていただきます。

運営方針の大きな柱となる重点施策としては、次の3つを定めています。

一つ目は、『厳しい経営環境下における法定労働条件の履行確保』です。

労働基準法令に係る申告・相談件数はある程度の落ち着きはあるものの依然として高い水準にあることから、経済情勢や就労形態を踏まえ、解雇・雇止め、賃金未払、長時間労働、最低賃金等の問題について、セーフティネットとしての機能を発揮します。特に、当署においては管内の地理的条件等から最低賃金の履行確保については強い問題意識を持って取組みます。

### 小田原労働基準監督署

#### 署長 長久保 茂

また、改正部分を中心に労働契約法や「職場のパワーハラスメント問題の予防・解決等に向けた提言」の周知を図ります。

二つ目は、『労働災害の発生状況に応じた労働災害の防止』です。

本年度は、「第12次労働災害防止推進計画」の初年度であることから、平成24年と比較して、平成25年における労働災害による死亡者数及び死傷者数を3.2%以上減少させることを数値目標として、災害が多発している業種及び災害が増加傾向にある業種並びに死亡災害等重篤度の高い災害が多い業種に対し、災害発生状況に応じた対策の推進を図ります。

あわせて、業種の如何に拘らず、リスクアセスメント・労働安全衛生マネジメントシステムの導入促進を図ります。

最後は、『職場環境及び労働者の就業実態に応じた労働者の健康確保対策の推進』です。

長時間労働やストレスの増大によって健康障害に至ることがないよう、長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止対策の推進並びに職場におけるメンタルヘルス対策の推進を重点に取組みを進めます。

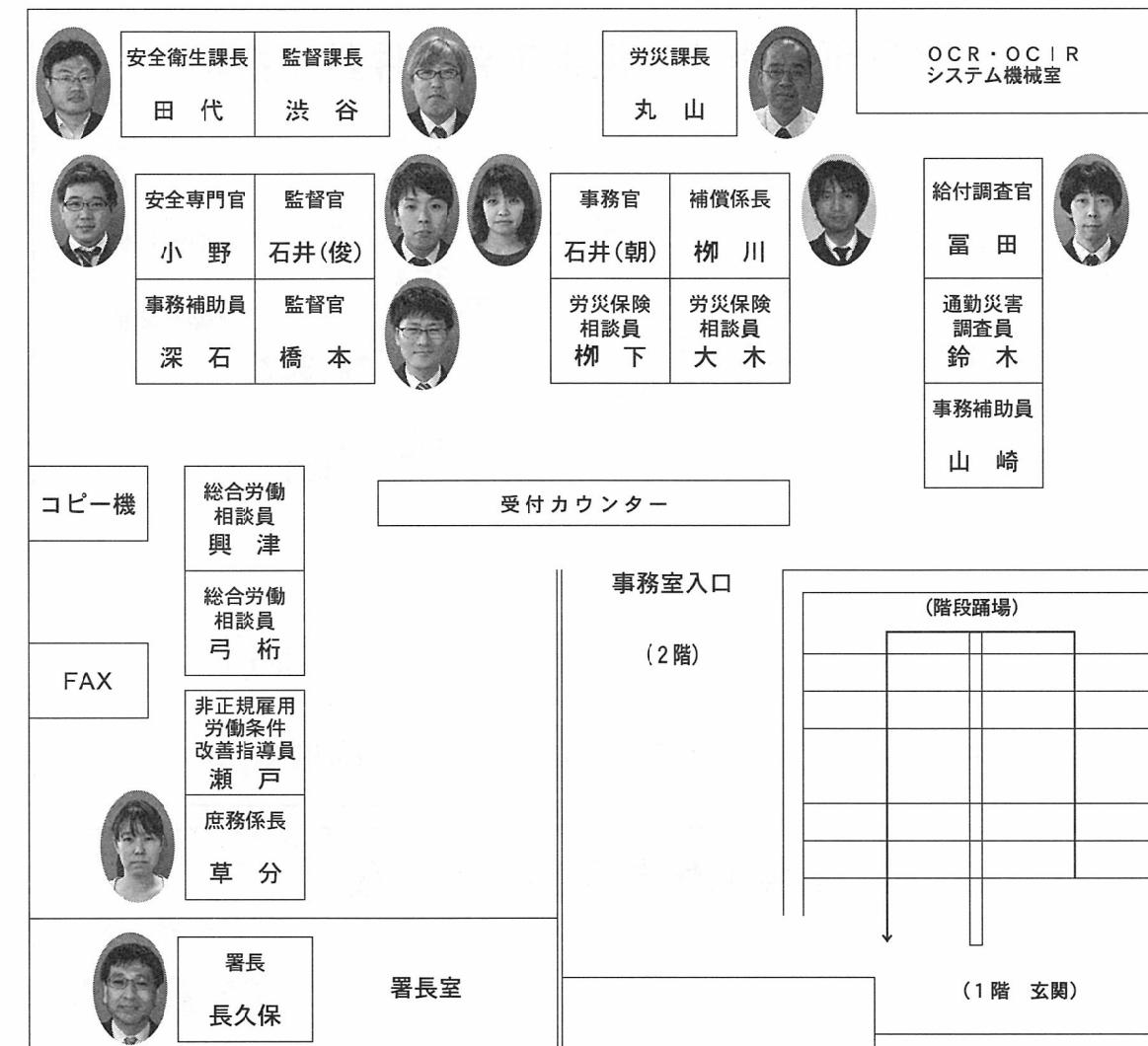
また、化学物質による健康障害防止対策の推進を図るため、化学物質の危険有害性表示と安全データシートの交付等による情報伝達の徹底に努めるとともに化学物質に係るリスクアセスメントの実施促進を図ります。

以上が行政運営方針の概要となります。

小田原労働基準監督署では人事異動により職員が大幅に交代しておりますが、本年度もよろしくお願い申し上げます。

## 小田原労働基準監督署 職員配置図

(〒250-0004) TEL.0465-22-7151  
小田原市浜町1-7-11 FAX.0465-22-0074



### <各課主要業務>

#### ■監督課庶務係

- 賃金構造基本統計調査
- その他各種統計調査

#### ■監督課監督係

- 適用事業報告
- 時間外休日労働に関する協定届
- 1ヵ月単位・1年単位の変形労働時間制に関する協定届
- 就業規則(変更)届
- 寄宿舎規則・寄宿舎設置届
- 労働条件等に関する相談

#### ■安全衛生課

- 特定機械等の設置届・落成検査等
- 労働者死傷病報告
- 各種健康診断結果報告
- 安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告
- 労働安全衛生法等に関する相談

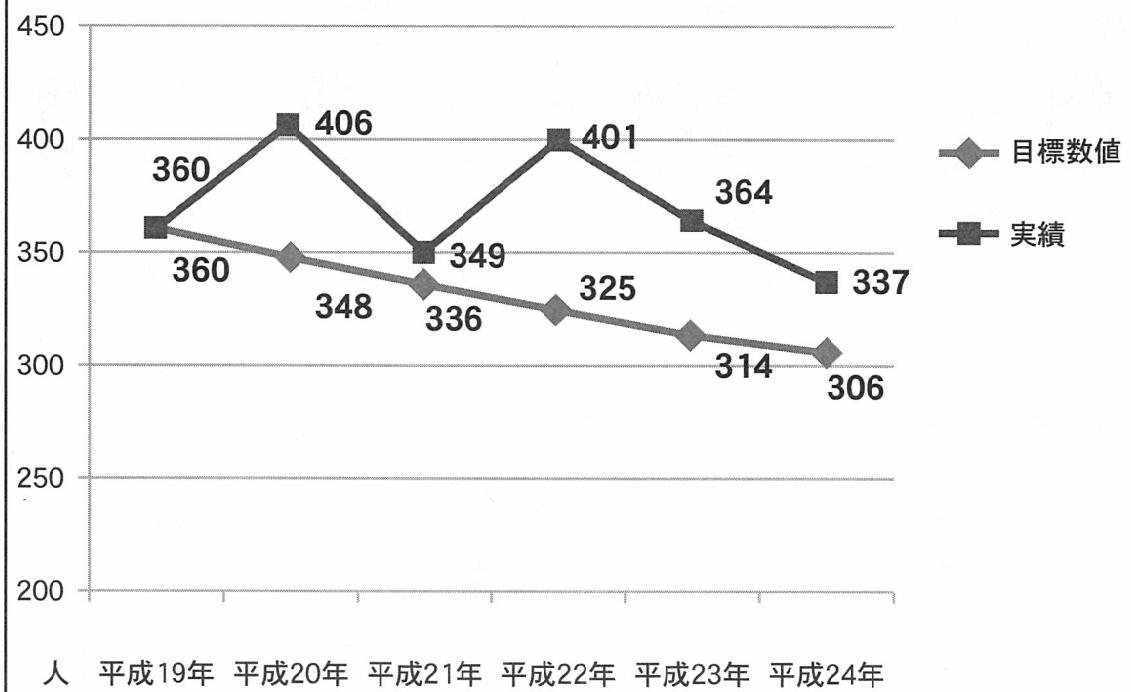
#### ■労災課

- 労働保険各種届等
- 労働保険各種請求書
- 労働保険に関する相談

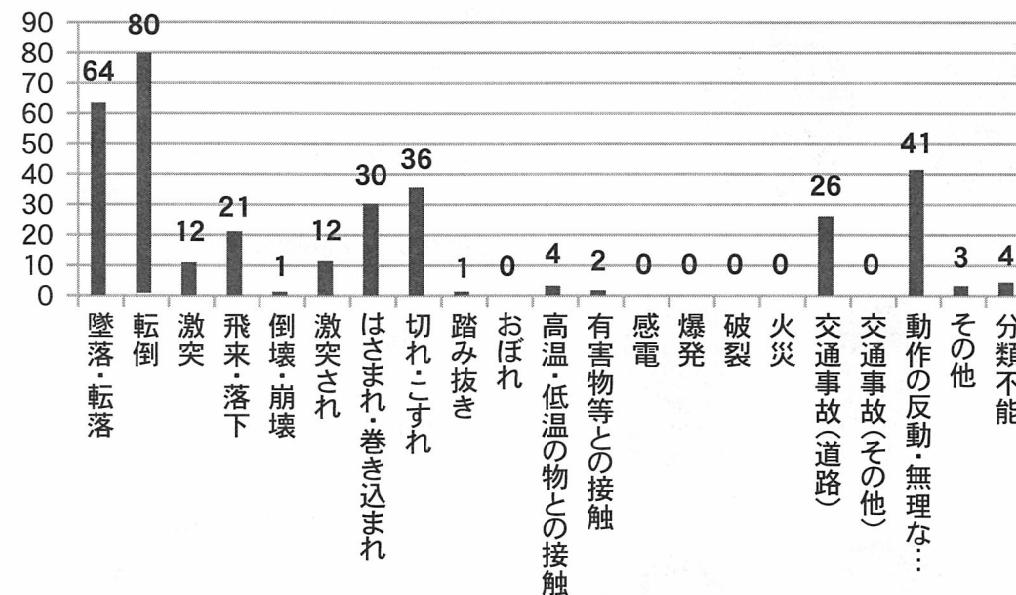
## 小田原署管内における労働災害発生状況

平成25年2月末現在速報値

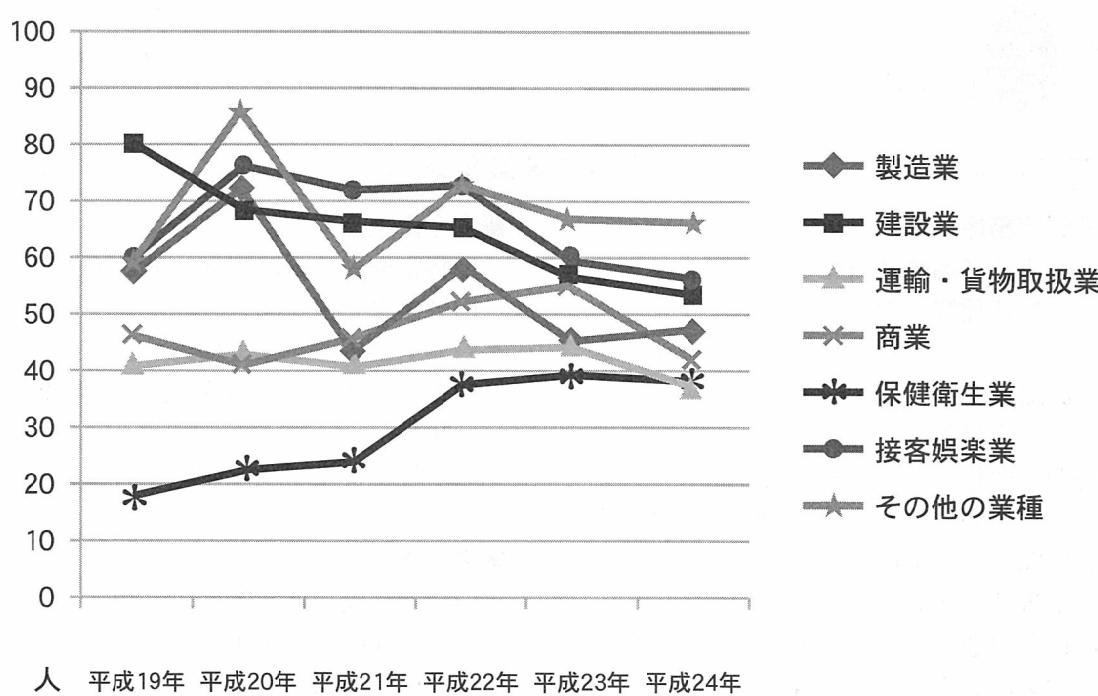
### 11次防期間中の労働災害発生件数の推移



### 事故の型別災害発生件数(平成24年)



### 業種別休業災害発生件数



### 労働基準監督署からのお知らせ

#### 平成25年度から、第12次労働災害防止 推進計画(12次防)が始まります！

##### テーマ：誰もが安心して健康に働くことが出来る社会を実現するために

###### 計画が目指す社会

「働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれるようなことは、本来あってはならない」

###### 計画の数値目標

- 平成24年度と比較して、平成29年度までに、  
■ 死亡災害の撲滅を目指して、労働災害による死者の数を15%以上減少させる
- 労働災害による休業4日以上の死傷者の数を15%以上減少させる

###### 現状と課題

産業構造の変化に伴い、第三次産業の労働災害が増えている。特に、「転倒災害」の割合が高く、新しい労働災害防止の手法が必要。

###### 第三次産業における安全衛生管理の強化

- 小売業に対する重点的取組
- 社会福祉施設に対する集中的取組
- 飲食店に対する集中的取組

## 平成25年度定時総会支部功労賞表彰者

	岩田光雄 株鈴廣蒲鉾本店
	川久保恒明 日本インジェクタ株
	松江隆己 日本製紙クリア株開成工場
	中村昌一郎 パナック工業株
	久保田一宏 株日立情報通信エンジニアリング
	小野瀬優幸 三菱化学ハイテクニカ株小田原テクノセンター
	石村文博 株明治ゴム化成
	太田吉昭 わかもと製葉株相模大井工場

小規模事業場の事業者と労働者の皆さんへ  
地域の産業医による健康相談・保健指導は  
無料健康相談窓口をご利用下さい

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働面接指導、メンタルヘルス対策や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理の支援のために、「神奈川県県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

### 1. 無料健康相談窓口ご利用時間（ご利用希望の方は、事前にご連絡を下さい）

午後1時00分～3時00分まで

### 2. 相談日（平成25年8月までの相談日は次のとおりです。）

4月8日(月) 4月25日(木) 5月8日(水) 5月24日(金) 6月5日(水)

6月25日(火) 7月1日(月) 7月25日(木) 8月9日(金) 8月23日(金)

(固定の相談窓口をご利用希望の方は、小田原医師会のホームページをご覧下さい)

### 3. 木曜日会場（小田原医師会衛生会館 1F会議室 小田原市城内1-22）

木曜日以外の日は、小田原市保健センターで「健康相談窓口」を開設しています。  
この他に事業者や労働者が利用し易いように、南足柄市、松田町、箱根町、開成町、山北町、中井町などの産業医のいる診療所でも適宜開設しています。  
連絡先 0465-49-2929  
(月～金曜日の祭日を除く10時から16時までにご連絡ください)

厚生労働省委託事業〔神奈川県医師会、協力小田原医師会・足柄上医師会〕 ご利用希望の方は  
**神奈川県県西地域産業保健センター** TEL 0465-49-2929  
FAX 0465-49-2930  
■小田原市酒匂2-32-16(小田原市保健センター内)コーディネーター 山本勲

## 会員研修会に参加して

3月8日（金）、暖かさを通り過ぎて汗ばむような気温の中、支部主催の会員研修会が開催されました。今年度は、スリーエムヘルスケア株式会社相模原事業所のカスタマーテクニカルセンター（CTC）を見学させて頂きました。

同事業所は、住友スリーエム株式会社の薬事法対応を担う研究開発拠点で、安全衛生製品や医療用器材、食品衛生管理製品等、3Mの商標で多数の製品を生み出しています。

CTCには、粘着基盤技術から発展したポストイットやスコッチテープ、食器洗いスポンジ、足拭きマット、自動車装飾部品、皮膚損傷ケア製品、手術器材等、様々な製品が展示され何でもあるという印象でした。

案内して下さった開発担当者より、製品開発の苦労や使い勝手を良くする工夫について説明を受け、実物に触れてみてその素晴らしさに感心しました。また、これらが3M製品50,000種類の一部と知り、開発力の凄さにも驚かされました。

見学の後半は、安全保護具の中から、呼吸器を守る工業用マスク類の選び方、正しい装着の仕方を現物に触れながら教わりました。

マスクの種類は呼吸用保護具選択チャートを使用して選び、安衛則や粉塵則、鉛則に適合する事、顔

にフィットし呼吸が楽で装着感の良い事も大切な選定条件であり、また、使用期限を守り二枚重ね使用はしない等、正しく使用しないとマスクの効果は半分になってしまう事を学びました。

取替え式防塵マスクの選定では、厚紙の簡易ノギスを使って、自分の顔の縦横を測定し、顔にフィットしたサイズ選びを体験することができました。その他、電動ファン付き呼吸用保護具を装着してみて、顔がすっぽり入るフードの中が非常に快適で、作業者への細やかな配慮に感心しました。

様々な呼吸用保護具に触れる事ができ、用途や顔のサイズにあった呼吸用保護具選びの大切さを再認識した研修でした。

最後に、大変有意義な研修会を企画して頂いた事務局、丁寧に応対して下さったスリーエムヘルスケア株式会社相模原事業所の皆様に厚く御礼申し上げます。



(山岸株式会社 木村則雄)

## 支部会員事業場紹介

☆社名 東興業株式会社 小田原工場  
☆所在地 小田原市桑原510  
☆代表者名 代表取締役社長 吉岡 實  
☆創立 昭和29年8月  
☆従業員数 48名  
☆事業内容 プラスチック製品製造販売、フッ素樹脂容器・高純度薬品搬送容器・医薬品容器・農薬容器・PC製品（プロー成形）



☆社名 富士急湘南バス株式会社  
☆所在地 足柄上郡松田町松田惣領360  
☆代表者名 代表取締役社長 堀内哲夫  
☆創立 平成9年9月  
☆従業員数 53名  
☆事業内容 貸切バス事業・乗合バス事業



## [事務局だより]

事務局長 石塚 金蔵

平成25年度がスタートしました。昨年度は会員皆様のご理解とご協力で各種行事につきましては、ほぼ計画通り遂行する事が出来ました。技能講習や研修会にも多くの方々の参加を得て、支部活動の根幹を支えて頂き有難うございました。

平成25年度も労働安全衛生法、関係各種指針及び労働基準法に基づく講習会等を開催しますが、特に平成25年度からの第12次労働災害防止推進計画に基づき第三次産業対策支援の一環として安全衛生推進者養成講習会・衛生推進者養成講習会の開催を会員皆様に周知を図っていく予定です。

会員の皆様のご支援ご協力並びに小田原労働基準監督署のご指導及び関係諸機関のご支援をよろしくお願い申し上げます。

### [5月～9月行事案内]

- \* フォークリフト運転特別教育
  - ・5月16日(木) 小田原箱根商工会議所
- \* 衛生管理者準備講習会
  - ・5月20日(月)、21日(火)  
小田原箱根商工会議所
- \* クレーン運転特別教育
  - ・5月22日(水) 小田原市民会館
- \* 職長安全衛生教育
  - ・5月28日(火)、29日(水)  
小田原箱根商工会議所

## 散歩道

新年度のスタートに合わせ、昨年12月から休止していた趣味のジョギングを再開しました。

そもそもきっかけは、ちょうど1年前のGWに、そのデザインと機能性に惚れ込んで買ってしまったランニングシューズでした。

それまでは安価なシューズで、気が向いた時だけ走っていましたが、これを契機に本気で走ろうと奮起し、ストイックに走り続けた結果、師走に入る頃にはハーフマラソン並み

- \* 全国安全週間小田原地区推進大会
  - ・6月4日(火) 小田原市民会館
- \* 安全衛生推進者養成講習会
  - ・6月13日(木)、14日(金)  
小田原箱根商工会議所
- \* 玉掛け業務特別教育
  - ・6月20日(木) 小田原箱根商工会議所
- \* 安全管理者選任時研修
  - ・6月25日(火) 小田原箱根商工会議所
- \* 労務管理講習会
  - ・6月28日(金) 小田原箱根商工会議所
- \* 救急法短期講習会
  - ・7月3日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* リスクアセスメント研修会
  - ・7月17日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 健康保持増進講習会
  - ・7月24日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 衛生管理者出張試験
  - ・7月28日(日) 神奈川大学
- \* 全国労働衛生週間小田原地区推進大会
  - ・9月3日(火) 南足柄市文化会館
- \* VDT労働衛生教育
  - ・9月12日(木) 小田原箱根商工会議所
- \* KYTリーダー研修会
  - ・9月18日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 安全衛生担当者の実務研修会
  - ・9月24日(火) 小田原箱根商工会議所
- \* 届出手続き講習会
  - ・9月27日(金) 小田原箱根商工会議所
- \* 交通KYT研修会
  - ・9月30日(月) 小田原箱根商工会議所

の距離を走れるようになっていました。しかし、そんな時、右足首に痛みが…。数日経つても一向に痛みが引かないので、やむなく病院へ行くと「走りすぎ、しばらくは走っちゃダメ」と診断されてしまいました。以降、痛みが引いた年明けから軽いウォーキングで我慢してきましたが、その甲斐あって、ようやく回復＼(^○^)／。今度は調子に乗って無理をしないよう“継続は力なり”をモットーに走り続けていこうと心に決めました。

(広報部会 出縄 正)